

編 集 後 記

『同志社大学図書館学年報』第40号もなんとか、まとめることができた。2014年度中にこれまで免許資格課程センターで事務をご担当いただいていた坂野友理様が異動され、新たに西原創造様に、本誌はじめ各作業をお手伝いいただいている。引き続き印刷をお願いしている木村桂文社様、協力いただいた学生諸君にもあわせて、ここで感謝を述べたい。

巻頭言、講演会記録、さらに大学院紹介記事でも触れられているとおり、2015年度から新たに大学院総合政策科学研究科総合政策科学専攻に、図書館情報学コースが開設される。2014年度はその準備と周知に迫られる日々であった。図書館情報学コースの設置にあわせ、司書課程講演会も「『見たことのない図書館』を考える」と題し、本学の村田晃嗣学長をはじめ、長尾真前国立国会図書館長・元京都大学総長、国立国会図書館の中山正樹専門調査員、本学の井上真琴学習支援・教育開発センター事務長という、大変豪華な面々を講師陣にお招きした。今号に収録した講演・シンポジウムの内容を、今後の図書館情報学コースでの教育・学習・研究にも活かしていきたいと思う。ご講演いただいた皆様に心より感謝申し上げる。

昨年度装いも新たに発足した同志社大学図書館情報学研究会（DUALIS）は今年もパワフルに活動中である。西本千夏さんにはその今年の活動の様子を紹介していただいた。また、DUALIS の2014年度幹事であった工藤未越さんはじめ、同じく2014年度卒の西口真梨奈さんと吉井嘉奈子さん、2013年度中心メンバーのお一人であった林玲花さん、同志社女子中高の図書館で働きつつ DUALIS にも顔を出されていた谷口未妃さんと、5人の DUALIS 参加者の皆さんから、「司書合格体験記」を寄稿いただいた。「私の仕事 この一年」に寄稿いただいた有馬良一さん、西川奈緒さんもそれぞれの職場で活躍中であり、DUALIS の芽が全国に広がっていくことを喜ばしく思う。「図書館見学記」を寄稿いただいた江藤由香里さん、茅野桃華さん、林直樹さんら新世代の活躍にも期待したい。

最後になるが、次年度から原田、佐藤の所属は社会学部教育文化学科から、免許資格課程センターに移ることとなった。名実ともに司書課程を主担当とする立場になることになり、これまで以上に司書課程の活動も活発化させていきたいところである。

（佐藤翔）